

福岡市立障がい児通園施設指定管理者選定・評価委員会 議事録

日 時：令和6年2月1日（木） 11：00～12：20

会 場：アクロス福岡 607会議室

出席委員：井上委員、松崎委員、石田委員、升永委員、横内委員、尾方委員、竹井委員、
平山委員、竹田委員、高尾委員

事務局：こども発達支援課

傍 聴 人：なし

<議 事>

<p>【事務連絡】</p> <p>事務局</p> <p>【委員長、副委員長の選出】</p> <p>【会議公開】</p> <p>委員長</p> <p>【傍聴の確認】</p> <p>委員長、事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部長挨拶、委員会趣旨説明 ・ 委員照会 ・ 資料確認 ・ スケジュール説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 互選により松崎委員を委員長に選出 ・ 松崎委員長により石田委員を副委員長に指名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全会一致により、率直な意見交換もしくは中立な意思決定が不当に損なわれる恐れはないと判断し、公開することを決定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 傍聴希望者は居ないことを確認
<p>【資料説明】</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前考察資料及び当日資料の説明
<p>【質疑】</p> <p>委員長</p>	<p>皆様もそれぞれ資料を読んだり、実際に療育を受けたりと、いろんな形で意見をお持ちと思うが、事務局からの説明事項に関して質問や意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>南部療育センターの職員配置は現在のあゆみ学園の職員配置を記載しているということで、ほかの療育センターと比べ</p>

	て相談・診断、訓練の部門が人数的に少ないが、南部療育センターができれば大体同じぐらいの職員配置がされる予定なのか。
事務局	基本的には東西療育センターと同規模の職員配置を求めていると考えている。
委員	心身障がい児童が年々増えているということから、福岡市としては、また新しく施設を立ち上げるなどの計画があるのか。
事務局	令和7年度にあゆみ学園の移転、建替えという形で、南部療育センターを新たに作ることで、相談・診断件数の増加や知的障がい児の受入枠を増やすこととしている。また、発達障がい児の増加に対しては児童発達支援事業所を設置していくこととしている。
委員	児童発達支援事業所の設置ということで令和4年度から試行したとある。療育センター等による後方支援ということで、あいあいセンターとめばえ学園の相互連携と記載してあるが、実際に令和4年度に事業所が活動を始めて、あいあいセンターとめばえ学園による後方支援をされているということか、それとも今後、相互連携で支援をしていきたいということか。
事務局	令和4年度からモデル事業として2つの事業所が運営しているが、後方支援は令和5年度にモデル事業として開設した4事業所に対して試行的に実施しており、事業所職員の実習受入れ、事業所への訪問支援等を行っている。 実施内容については、現在の実施状況を踏まえ、今後、検討していきたい。
委員	令和5年度の段階では、めばえ学園も実際に後方支援に関わっているのか。
事務局	めばえ学園も関わっている。
委員	一緒にやっているということか。

事務局	一緒にやっている。
委員	幼稚園、保育園に行きながら、児童発達支援事業所で週に1・2回の療育を受けられるようになるということで、ある意味で療育センターの外来療育のニーズが、ある程度減ってくることになると思うが、職員を減らしたりすることはないのか。後方支援にしっかり回してもらうのが一番いいとは思いますが、どうか。
事務局	将来的に児童発達支援事業所が充実した場合、外来療育から児童発達支援事業所へニーズが変動し、市立施設の職員は事業所への後方支援に力を入れていくことになる可能性があると考えているが、現在、外来療育の需要が増えている状況であるため、今後の体制については、今後の需要をしっかりと見極めていきたい。
委員	あいあいセンターとめばえ学園がお互いに補いながら後方支援を行うということで、めばえ学園の役割が高くなってきていると受け止めたが、具体的にこの相互連携は、社会福祉事業団同士だからうまくできている部分と、例えば違う法人がした場合に難しい部分というのは、モデル事業で連携を取っている中で考えられる課題はあるのか。
事務局	事業所職員の実習受け入れや、訪問支援の際に療育方針が異なる法人が支援を行うと、事業所の方が混乱する可能性があると考えている。一貫した方針のもとで支援を行うためには、同一の法人で一体的に支援をする方が望ましいと考えている。
委員	療育センター自体がある程度統一した診断や、療育方針・援助方針を持っていると思うが、そこが市全体としたときにはどこの事業所に行っても同じような指導が各地域でもできる。その一つとしてあいあいセンターは知的単独通園施設を持たないので、その部分をめばえ学園が補う。補うとしたらやはり同じ理念の中で動いている法人のほうがベターだろうという考えか。
事務局	そのとおり。

委員	児童発達支援事業所が今6か所あるが、後方支援の業務量が、療育センターやめばえ学園の先生たちにどの程度かかるのか。
事務局	現在の実施状況等を踏まえ、訪問回数などの業務量については、今後検討していきたい。
委員	事業所が増えれば、その分職員配置などを含めて療育センターやめばえ学園の体制が整えられるよう進めているということか。
事務局	そのとおり。
委員長	審査資料についての質疑は終了し、障がい児通園施設の第6期の指定管理者選定に関わる選定方法について非公募とするのか、公募とするのかについて意見を交換したい。 この委員会自体は、議題について最終的な決定は福岡市が行うため、参考とするように委員それぞれの立場から意見を述べる場である。委員会としての意見をまとめて最終的な結論を出すということではないので、それぞれ公募、非公募についての御意見を願います。 あいあいセンターの保護者委員は、実際に今、利用しておられるが、保護者の立場からいかがか。
委員	やはり先生との厚い信頼関係があるため、新しく先生ががらっと変わると、子どもも混乱し、慣れるまでにすごく時間がかかってしまうため、このままがいいと思っている。
委員	子どもにとって変化というのはなかなか厳しいことでもあるだろう。
委員	なかなか難しい問題であって、公募してもなかなか手を挙げる事業者がいないと聞いたが、実際、児童発達支援の事業運営ができる団体はどのくらいあるのか。
事務局	視覚、聴覚なども含めてあいあいセンター全ての機能となると、医師や機能訓練士等の専門職が必要になるため、福岡市内にはそういった人員を有している児童発達支援センター

	を運営している法人はない。全国的にどこかあるのかとなるとそこまでは分からない。
委員	どうしても非公募という形にならざるを得ないのかなというふうに思っている。
委員	前回めばえ学園は、続けて同一法人でなくてもいいのではないかというような意見もあったようだが、めばえ学園の保護者の方は、社会福祉事業団の施設を第1に希望したのか。
事務局	事務局のほうから御説明させていただく。 知的障がい児の3～5歳児の通園施設については、福岡市では居住地によって通園先を決めている。そのため、保護者の方が選ぶという状況ではなく、ここにお住まいの方はめばえ学園、ここにお住まいの方は民間の〇〇学園という決め方をしている。
委員	福岡市の3～5歳の療育については、どこも一定水準みんな平等にあるという考え方のもとに、お住いの居住区の施設に通園していると思うが、ほかの法人の療育を受けたことはあるのか。
委員	以前関東に住んでおり、そこで相談から診断を受けて、市が委託した民間事業者が運営しているところと幼稚園を並行して通っていた時期がある。また、普通の民間の児童発達支援事業所を使っていたこともある。 市が委託しているところは、小規模制で在籍が6名ぐらいだった。そのため手厚いケアは受けられたのはよかったが、預かり時間が少し短かったという現状もあり、民間のところと比べて使いにくさはあった。逆に民間のところは時間的には長かったり、送迎があったり、助かる面はありつつも、営利目的のような感じがあり、療育の水準としてはどうなのだろうと不安などもあった。 そのため、福岡市へ引っ越すタイミングで療育機関をどうするかと考えたときに、市が運営しているところが、園庭やプールなどの施設も充実しており、資金も潤沢にあるかと思い、居住区を選んだ。

委員	<p>療育の水準などは、やはり一番の御心配事となる。</p> <p>療育センターは、機能的にそれぞれが同一の部分があるし、例えば学園に関してはさきほど言われたように、ほかの単独通園施設との関係性もあるかなというところもあったけれども、療育を受ける立場から、今の療育の助かっている部分やもっとこういうふうになってもらいたいというところも含めて意見をいただいて、その上で今のような形がいいのか、公募がいいのか、意見をいただきたい。</p>
委員	<p>親子通園の1歳児から西部療育センターに通っていて、そのときはもう少し長い時間働いていた。単独通園になると、預かり時間が10時から15時なので、民間の事業所2か所も見学して、最終的に西部療育センターを選んだ。理由としては、保育士や専門職の方が、数多くいらっしゃるが、皆さん対応が統一されていて、子どもへの接し方が温かい。怖い先生や、この先生はちょっと嫌だということを感じたことがなく、子どものケアも保護者のケアも万遍なく行ってくれている。</p> <p>また、学習会なども多いため、子どもの発達の上で不安なことなどを解決する機会も多い。視力の勉強会にあいあいセンターの職員の方も来られたりして、法人が一緒だから連携が取りやすいのかなと感じることもある。</p> <p>西部療育センターの療育が合わないという方ももしかしたらいらっしゃるかもしれないため、民間事業所がもう少し増えてそのあたりの選択肢が住んでいる地域に関係なく増えるようになるとすごくいいと思う。</p>
委員	<p>社会福祉事業団が運営しているから、あいあいセンターからの支援も受けられたということか。</p>
委員	<p>そうなのかなと思った。</p>
委員	<p>療育センターが幾つもある中で、違う運営団体で今の高いレベルを保っていくというのはとても難しいのだろうと思う。基本的には今の社会福祉事業団による運営で、どこの療育センターも高いレベルを保っていたいただいているのかなと思っており、その安定した状況を保つためには、個人的には非公募がいいのかと思ったが、保護者の方の「全部違う運営団体</p>

	でもよいので公募して競争させて、もっと高いレベルを目指してほしい」というような意見があればぜひお聞きしたい。
委員	もともと公募というのはある程度停滞していかないように、競争の中で利用者の声をきちんと聞きながら事業を高めてもらうというのがもともとの趣旨のため、そこら辺も含めてですね。
委員	めばえ学園の方の個人的な御意見でもいいし、通っている保護者さんのこんな声があるでもいいが、その点をお聞かせいただきたい。
委員	1歳の親子通園からお世話になっているが、先生方との信頼関係がもう築けているため、子どもが年長になったときに先生方や管理が変わってしまうと、子どもたち自身が対応できず、私たちも進路相談を控えているため大変困る。 そのため、このまま社会福祉事業団に運営していただきたいと保護者一同思っている。
委員	一同ということだが、おおむねそういう意見が多いということか。
委員	そのとおり。
委員	もちろん社会福祉事業団の運営がいいというものもあるが、一旦入ってそこに慣れたものをあまり変えないでほしいという要望が強いということか。
委員	そのとおり。
委員	私はそういう御意見ということをお伺いする。
委員	あゆみ学園は親子通園から利用している。今は結構食事に手こずっており、家ではつぶつぶのペーストを食べるが、あゆみ学園ではなぜか嫌がる。先生が御飯を潰してくれて、おかずと混ぜてころころのおにぎりを作ってくださいると、おやつを食べる意欲はあるので、おやつの延長で食べたいとなる。同じ障がいでも一人ひとり違うと思うため、やはり同一法人

	<p>にいる専門性を持った先生方で今までの経験をやり取りしてもらい、一人ひとりに合わせたより高い療育を行ってくれる社会福祉事業団にお任せしたいと思っている。</p>
委員	<p>今、あゆみ学園にいかれているが、次は南部療育センターになるため、南部療育センターについての御意見をということで受け止めてよいか。</p>
委員	<p>私だけのことで言えば、歩いたらめばえ学園になり、歩かなかつたら南部療育センターになるため、めばえ学園でも南部療育センターでも共通した理解を持って子どもの様子を見てくださる先生方がいてくれたらありがたいと考えている。</p>
委員長	<p>西部療育センターについてはどうか。</p>
委員	<p>私個人としては、非公募を希望している。ほかの保護者委員と同じ意見で、やはり子どもと職員の方の愛着関係が形成されているときだと思うため、がらっと人が変わるのもそうだし、やはり療育の方針ややり方も各事業所で変わってくると思うため、年長の大事な時期に、ここに通わせたいと思って通っていた園の中身が全部変わって、子どもの療育の受け方も変わると、変化に弱い子なので、そこに対する不安のほうが大きいと思う。</p>
委員長	<p>東部療育センターについて、公募、非公募というところに関して御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>さきほど、「水準が落ちないように競争原理が働くように公募するとしてもいい」と言われており、それもそうだと思うが、公募したとしてもあまり現実のものにはならないだろうというのもある。子どもの成長は一年一年違い、保護者の意見を聞いても、あまり変化をしてほしくないというのが相当な意見なのかなと思う。</p> <p>定型発達の子と比べてセンシティブな内容を抱えている保護者の方もいっぱいいるし、状況が変わってしまうことに対する不安のほうが大きいため、非公募が望ましいと思う。</p>
委員長	<p>めばえ学園は、前回のときは公募で、実質的には社会福祉事</p>

	業団で運営もされてきているが、保護者の立場としてはこれまでどおり公募が望ましいのか、ほかの療育センターのように非公募が望ましいのか、御意見をいただきたい。
委員	私は今のまま非公募で社会福祉事業団のほうがいい。先生たちも子どもの変化にすぐ気づいてくれて、クラス外の先生からも園の様子を聞くことが多い。子どもたちのことをよく見ていると思うし、今の先生たちに親もすごく信頼を置いているため、このまま社会福祉事業団で見えていただきたい。
委員	さきほど保護者委員が言われたが、親子療育などいろんな療育をやってきて、その次にというところの場合、非常に微妙な子どもさんとかもいらっしゃる。割と新しい通園施設でも大丈夫というお子さんもいらっしゃるが、なかなかそこが迷うところもあったりする。 割と福岡市の場合は、社会福祉事業団を中心に一般の通園施設もとても意欲的に、連携も取りながらやっていたいので、療育の質がそんなに変わるということはないというふうに思っている。ただ、療育センターについては、診断なども全部含めて総合的な職員をどれだけ育てて、保護者に提供できる法人がどのくらいいるかとなるとなかなか難しいだろう。やはり福岡市のよさは考え方や姿勢がかなり共有されているということも保護者の皆様にとっては安心できるところかなというふうにも感じている。
委員	非公募のほうが利用者の動揺やいろいろな変化がなく、今の法人で特に問題はないということ、あいあいセンターとめばえ学園が後方支援のために連携するには同一の法人のほうがやりやすいということで、それはもちろんそのとおりだと思うので、あえて公募にする必要はないだろう。
委員	個人的には、通園施設どこも一定レベルでめばえ学園もその通園施設の一つとして大丈夫じゃないかということで公募したが、親子療育をしているとか医療的ケアが必要な子どもさんの療育もしているということで、手を挙げる法人がほかにいなかったということも実績の一つだろうと思う。 それに加えて、これから増えていく児童発達支援事業所の質を同等に保っていくための支援をめばえ学園とあいあいセ

	ンターと一緒にやっていくということであれば、前回とは状況が変わってきているところもあると思う。
事務局	財務状況についてはいかがか。
委員	決算書だけ見ても中身がどういう状況なのかは分からないが、ただ言えることは結構余剰金がでている。余剰金が法人部門に流れているのか、ほかの事業に流れているのかまでは分からないが、余剰金を還元するような形でされればいいと思う。
事務局	法人全体としての財務状況はいかがか。
委員	お金が全くないわけではない。ただ、事業がいろいろ分かれているため、事業ごとの余剰金が出たらほかの事業に回している。そのため、どこか足りない場合があるのかもしれないし、収入が多い場合もあるかもしれない。なぜ余剰金がそんなに出ているかがこの資料だけ見ても分からない。発達障がい児童の対策等、還元してあげられるところがあればそうしてあげたほうがいいと思う。今、不満や不安がないと言われているので、今の流れでされてはいいかもしれないが、どんどん社会も変化して新しいことが出ているため、それを基にしてこの余剰金を何とかうまく使えるようにしていただくといいと思う。
委員長	以上をもって本日の議事は終了する。
【事務連絡】	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・お礼 ・今後の流れ ・議事録について
【閉会】	